

茨木市の地域コミュニティに関するアンケート調査結果の概要【B票】

1 対象（令和元年8月現在）

単位自治会長、地域自治組織及びコミュニティセンター管理運営委員会構成員
計 875 人

2 回収率

回答者数 522 人
回収率 59.7%

3 調査結果の概要

(1) 回答者の属性

「男性」	74.5%
「女性」	24.9%
「答えたくない」	0.2%
「不明」	0.4%

(2) 回答者の職業

「自営業」	10.5%
「会社員」	23.6%
「公務員」	3.8%
「団体役員」	3.6%
「無職」	43.5%
「その他」	13.4% (派遣社員、アルバイト・パート、会社役員等)
「不明」	1.5%

(3) 回答者の年齢

「30～39 歳」	5.0%
「40～49 歳」	12.6%
「50～59 歳」	13.6%
「60～69 歳」	26.8%
「70～79 歳」	34.7%
「80 歳以上」	6.9%
「不明」	0.4%

(4) 所属組織での役割

「会長・委員長」	71.9%
「副会長・副委員長」	6.1%
「会計」	1.9%
「書記」	0.6%
「監査」	2.3%
「班長」	0.2%
「その他」	14.9% (相談役、理事長、理事等)

(5) 役職経験年数

「1年未満」	37.9%
「1～3年未満」	16.1%
「3～5年未満」	11.9%
「5～10年未満」	13.6%
「10～20年未満」	10.3%
「20年以上」	5.6%
「不明」	4.6%

(6) 家族構成

「単身」	5.9%
「夫婦のみ」	37.2%
「親子(二世帯)」	46.9%
「親・子・孫(三世帯)」	9.2%
「その他」	0.4%(同居あり、夫婦と孫)
「不明」	0.4%

(7) 役員の兼務

「1つ」	40.2%
「2～3つ」	29.7%
「4～7つ」	22.4%
「7～9つ」	3.8%
「10以上」	1.3%
「不明」	2.5%

(8) 地域住民の交流・連携の進捗

「とてもそう思う」	10.2%
「ややそう思う」	46.9%
「あまりそう思わない」	35.6%
「全くそう思わない」	2.9%
「わからない」	3.4%
「不明」	1.0%

(9) 地域コミュニティ活性化の進捗

「とてもそう思う」	8.0%
「ややそう思う」	40.4%
「あまりそう思わない」	42.5%
「全くそう思わない」	3.1%
「わからない」	5.2%
「不明」	0.8%

(10) 地域づくりへの意識の高まり

「とてもそう思う」	5.0%
「ややそう思う」	28.5%

「あまりそう思わない」	53.2%
「全くそう思わない」	7.3%
「わからない」	5.2%
「不明」	0.8%

(11) 地域への愛着

「とても愛着を感じている」	38.5%
「やや愛着を感じている」	48.1%
「あまり愛着を感じていない」	11.1%
「愛着を感じていない」	1.3%
「不明」	1.0%

(12) 地域への愛着の具体例(複数回答)

「景観・まちなみ」	32.3%
「自然・風景」	34.1%
「地域の人々とのつながり」	66.6%
「文化・歴史・伝承」	21.9%
「地域のお祭りなどの地域行事」	52.9%
「その他」(児童の見守り、校区内の人間関係等)	13.1%

(13) シビックプライドの醸成に必要なこと(複数回答)

「景観・まちなみ」	20.5%
「地域情報の発信」	41.0%
「地域の人々とのつながり」	72.4%
「地域の将来像の共有」	42.5%
「地域のお祭りなどの地域行事」	37.9%
「その他」(自治会への参加、次世代への継承、共助の精神等)	10.0%
「不明」	3.8%

(14) 役員の選出方法

「輪番(当番)」	36.0%
「投票」	4.8%
「推薦」	25.7%
「協議(話し合い)」	23.9%
「その他」	8.2%(くじびき、抽選、立候補等)
「不明」	1.3%

(15) 任期(会長・委員長)

「1年」	49.2%
「2年」	23.2%
「3年以上」	13.0%
「その他」	7.7%
「不明」	6.9%

(16) 任期(副会長・副委員長)

「1年」	44.1%
「2年」	21.6%
「3年以上」	10.2%
「その他」	7.1%
「不明」	17.0%

(17) 任期(書記)

「1年」	37.9%
「2年」	19.0%
「3年以上」	6.7%
「その他」	6.5%
「不明」	29.9%

(18) 任期(会計)

「1年」	47.1%
「2年」	22.8%
「3年以上」	8.8%
「その他」	5.6%
「不明」	15.7%

(19) 任期(監査)

「1年」	43.3%
「2年」	19.5%
「3年以上」	7.3%
「その他」	6.3%
「不明」	23.6%

(20) 任期(班長)

「1年」	48.3%
「2年」	9.6%
「3年以上」	3.6%
「その他」	5.0%
「不明」	33.5%

(21) 任期(その他)

「1年」	10.5%
「2年」	5.4%
「3年以上」	2.3%
「その他」	2.5%(組長、支部長、理事等)
「不明」	79.3%

(22) 謝礼(報酬)の有無

「有」	14.6%
-----	-------

「無」	65.9%
「わからない」	10.3%
「不明」	9.2%

(23) 謝礼(報酬)の平均額

「会長・委員長」	22,135 円
「副会長・副委員長」	14,421 円
「書記」	10,391 円
「会計」	15,343 円
「監査」	8,350 円
「班長」	4,729 円
「その他」	6,585 円

※具体的な支出元・支出科目については、本編を参照

(24) 所属組織での主な収入(複数回答)

「自治会費」	70.9%
「自治会活動報償金」	28.4%
「市からの補助金・交付金」	52.1%
「資源回収の報奨金」	23.6%
「企業事業者からの寄付」	7.5%
「その他」	16.1%(自治会助成金、祭りの収入、施設使用料等)
「不明」	2.7%

(25) 地域コミュニティ活動への参加(複数回答)

「地震、風水害等に備える自主防災活動」	66.7%
「地域の安全を見守る、防犯・パトロール活動」	51.3%
「ごみステーションの管理・公園清掃などの環境美化活動」	46.0%
「高齢者、障がい者などに対する福祉活動」	28.2%
「子育て支援に関する活動」	16.5%
「青少年健全育成に関する活動」	37.4%
「こども会・PTA活動」	18.0%
「地区体育祭などのスポーツ活動」	68.0%
「趣味の活動や文化展などの文化活動」	42.0%
「地域のイベント(お祭りなど)の活動(運営)」	76.1%
「歴史・文化の継承活動」	6.9%
「生涯学習の推進活動」	8.6%
「その他」(神社行事、異文化交流、高齢者への運動指導等)	7.3%
「不明」	4.4%

(26) 地域コミュニティへの参加の「きっかけ」(3つまで回答)

「自治会を通じて参加」	68.6%
「保育所や学校など、子どもの関係で参加」	20.1%
「友人、知人を通じて参加」	9.8%
「地域の役員さんから依頼されて参加」	33.7%

「公民館、コミュニティセンター主催の事業(講座)への参加」	16.3%
「地域が発行している情報誌やチラシを見て参加」	2.3%
「自発的に参加」	9.6%
「特にきっかけはない」	2.5%
「その他」(役員の姿を見て協力、地域に貢献等)	7.5%
「不明」	4.6%

(27) 他団体や組織との連携・協働

「有」	74.1%
「無」	14.0%
「わからない」	9.6%
「不明」	2.3%

(28) 具体的な連携・協働の主体(複数回答)

「自治会」	83.2%
「公民館区事業実施委員会」	64.6%
「こども会育成連絡協議会」	39.0%
「青少年健全育成運動協議会」	54.8%
「地区福祉委員会」	68.2%
「民生委員・児童委員」	37.5%
「地区老人クラブ連合会」	34.1%
「小学校PTA」	33.1%
「自主防災会」	70.8%
「防犯協会支部」	51.9%
「人権啓発推進委員会」	22.0%
「市立小学校」	37.7%
「私立幼稚園・保育所」	6.2%
「地域活動団体」	23.0%
「NPO法人」	4.1%
「企業・事業所」	8.0%
「社会福祉法人」	12.4%
「病院」	3.4%
「その他」	5.7%(あいさつ運動推進協議会、消防団等)
「不明」	0.3%

(29) 他団体や組織との連携・協働している具体的な内容(自由記述)

<地域行事(祭り・イベント・スポーツ)>

ふるさと祭り、文化展、コミセン祭り、地区体育祭、スポーツレクリエーション、子ども会カルタ大会、ハロウィンや親睦を目的とした集会

<防犯・防災>

防災訓練、防犯啓発(特殊詐欺など)、見守りパトロール、老人ホームとの防災協定

<福祉活動>

敬老会、高齢者のサロン・コーヒー喫茶、いきいき交流広場、老人ホーム・幼稚園等の交流、認知症者の話し相手

<清掃活動>

公園、水路等の地区の清掃活動、地域一斉清掃でこども会と連携

<その他>

各種募金活動、廃品回収、諸会議等参加(連絡・意見交換)、地域の諸団体・市・警察・小中学校との協議を実施(年1回)

※詳細については、本編を参照

(30) 所属組織の会員同士の情報共有する場の有無

「有」	89.7%
「無」	5.2%
「わからない」	3.6%
「不明」	1.5%

(31) 情報共有する場の具体例(複数回答)

「総会」	77.4%
「理事会」	13.9%
「役員会」	75.0%
「専門部会」	13.0%
「企画会議」	12.0%
「円卓会議」	8.1%
「その他」	14.7%(定例会、班長会、実行委員会、グループライン(メール)等)
「不明」	0.2%

(32) 情報共有する場の年間回数

「1～2回」	16.5%
「3～4回」	21.6%
「5～6回」	19.4%
「7回以上」	40.8%
「不明」	1.7%

(33) 所属組織における課題への対策として工夫している具体的な取組

①組織への加入者の減少

「課題である」	51.7%
「課題でない」	30.8%
「わからない」	12.1%
「不明」	5.4%

<加入者減少に対する工夫した取組>

情報誌、チラシの配布、掲示板の活用

転入者宅への個別訪問、地域活動資料の配布、自治会規約等の説明

会費の一部を地域還元(Quo カードなど)

アンケート実施。管理組合との合併も検討

活動のスマート化(アナログとデジタルの併用)

②高齢化による地域活動への参加者の減少

「課題である」 66.6%

「課題でない」 21.3%

「わからない」 9.0%

「不明」 3.1%

<地域活動への参加に対する工夫した取組>

高齢者等の専用観覧席を設置、会場まで自家用車で送迎

地域の会合に、できる範囲での出席を依頼

若年層の意見の募集

こども会、保護者の方への協力依頼(PTAを含む)

年間2回の大掃除のお礼として生活用品を毎回配布

活動内容を毎月「〇〇便り」として、地域内に配布して呼び込み(行事案内等)

チラシ、回覧、公報、HPなどで地域活動を周知

事業の簡素化等、負担の軽減

各種団体に参加協力を依頼

地域の企業からの協力

親睦部会を設けて、毎月集会所で親睦会を実施

③役員の負担の増加による担い手不足

「課題である」 66.9%

「課題でない」 18.2%

「わからない」 11.3%

「不明」 3.6%

<役員の負担や担い手の確保に対する工夫した取組>

若い人への個別勧誘

ライン(メール)を活用し、会議の事前準備をして会議の時間を短縮

会長の2人制

役員を支援するスタッフを多くして、負担を軽減

副会長を複数(3人)とし、行事ごとに担当を決め協力

アンケートを実施し、行事の規模を縮小

主婦を中心とした課題提案や討論の場を設定

④所属組織に魅力を感じない

「課題である」 34.9%

「課題でない」 31.0%

「わからない」 28.7%
「不明」 5.4%

<魅力の向上に対する工夫した取組>

広報誌で活動を発信

ごみ袋を配布

小さい事でも出来事や入手情報を発信

防犯、防災を理解してもらい、共助の必要性を感じてもらう

主体者間で夢を語る希望を設け、その結果をチラシにして考え方や進め方を回覧または全戸配布

夏祭り、クリスマスイベント(人形劇)、夏休みラジオ体操、一斉清掃等の行事を通じ、自治会員相互の親交、協調感の醸成を図っている

コミュニケーションや楽しさの創出に主眼を置いた取組を実践

知り合いが増えるメリット

コミュニティセンターの指定管理制度に魅力を感じ、地域の事は地域でやる事に、やり甲斐を感じる

⑤地域活動に対する住民への周知

「課題である」 33.1%
「課題でない」 43.5%
「わからない」 17.0%
「不明」 6.3%

<住民への周知に対する工夫した取組>

HP、広報誌、コミセンニュースの活用(全戸配布含む)

ライン(メール)の活用

自治会独自の回覧を配布

月1回の常会(定例会)で周知

中学校等の協力で児童、生徒を通じて配布

毎月の回覧に活動の予告や活動結果を記載

できる限り会長による手作りビラを配布

ミニ掲示板を作成し、班長宅に設置

地域情報誌を組織の枠を超えて共同で作成し、地域全体へ配布(幼稚園・保育所・小学校)
年3回、広報誌を発行し何をしている団体なのかを広報(賛助金の使途、年間活動等)

⑥活動資金の不足

「課題である」 20.1%
「課題でない」 58.1%
「わからない」 17.4%
「不明」 4.4%

<活動資金の確保に対する工夫した取組>

リサイクルで資金回収を実施

自治会に入っていない人も協力金(電灯代)として半額もらう

地域内の企業にも出来るだけ自治会員(特別会員)への加入を依頼して収入を得ている
PTA、青健協、福祉委員会からの協力金、地域事業者からの寄付金・協賛金
行事の際に地区内商業・サービス業諸団体に協賛金を依頼
地域祭の模擬店収益金を活用

⑦地域活動(まちづくり)に対する関心の希薄化

「課題である」	47.7%
「課題でない」	21.1%
「わからない」	26.2%
「不明」	5.0%

<地域への関心に対する工夫した取組>

地域活動資料、地域情報誌、公民館報の発行(全戸配布含む)
地域協議会便りの発行(3回/年)、行事カレンダーを添付、全戸配付
コミュニケーションができる場の提供
まちづくりのための、セミナーを実施
廃品回収、経理よりごみ袋配布(50枚/年1回)
2ヶ月に1度自治会ニュースを配布。年2回懇親会を開催
消防訓練や隣接公園の定期清掃並びにクリスマスイルミネーションを実施
子ども会が中心となり、各種行事(月例集会、ハロウィンなど)を実施(親睦部会)
地区内の注意点等を月に1度、回覧
秋祭りに太鼓巡業を企画し、住民参加を促す

⑧地域活動のマンネリ化

「課題である」	36.4%
「課題でない」	30.1%
「わからない」	27.0%
「不明」	6.5%

<地域活動の活性化に対する工夫した取組>

自主活動で新たな試みを作り出すことを推進(補助金の充実)
同世代の運営委員を誘い、新しい模擬店を実施
だれもが参加しやすいよう、広い世代に合わせた行事を計画
各組織とワークショップを何回も行い、互いに協力
市からの新しい情報提供をすぐに取り入れ、現在のテーマに即した講習会等を開催
年1回の管理組合総会で自治会関係の報告を行い、組合員から意見や提案をもらう
団体の会議の場、または、一般住民からの地域活動に対する情報や声を大切にし、協議会
に提案
新しい会員を増やすように案内を全戸に配布
5年10年後の地域の理想像を定め、それに向かって短期、長期のテーマを着実に進め、そ
の状況が住民に分かるように情報提供するのが良い

⑨各種団体等との連携・協力

「課題である」	19.9%
---------	-------

「課題でない」	49.4%
「わからない」	24.5%
「不明」	6.1%

<各種団体等との連携・協力に対する工夫した取組>

各団体に相互役員を派遣
 自治会長会議を開き、連携・協力
 連絡協議会で団体間の連携
 地域協議会を主体に連携する仕組みが進行
 地域連絡協議会等の場で相談
 ライン(メール)グループがあり、普段から密に連絡
 毎年2回円卓会議を実施
 年に1度各種団体との懇談会を開催し、情報交換

⑩回覧物による地域の負担

「課題である」	31.6%
「課題でない」	45.6%
「わからない」	18.6%
「不明」	4.2%

<回覧物に対する工夫した取組>

自治会役員による分担、分業
 回覧物は全部コピーし、全戸配布
 回覧可否の選定をし、掲示板を活用
 掲示板に必要と思われる回覧物を掲示し、いつでも閲覧が可能
 月一回の班長会(第3又は4土曜日)で説明し、配布
 ブロック(4ブロック)ごとに、毎月25日に集会を開き、その場での回覧および要旨説明を実施
 PDF化してメールで送付

⑪募金活動による地域の負担

「課題である」	24.7%
「課題でない」	49.4%
「わからない」	21.6%
「不明」	4.2%

<募金活動に対する工夫した取組>

各班長単位で処理(集金)し、一括で各班長から処理をする
 戸別訪問ではなく、案内チラシを配布し、回収ポストによる回収
 募金案内を全戸配布し、会長宅へ持参
 募金箱を回して、協力
 どんと祭り等イベント時に募金箱を設置
 集会のときに募金集め

(34) 多世代が参加できる工夫した取組(自由記述)

回覧、チラシ、ポスター、広報誌、HP の活用
小学校 PTA への協力依頼
敬老会、子供会にも回覧等で協力依頼
各種行事ごとに有志協力員を募集
七夕の笹飾りに老人クラブに参加・協力依頼
夏休みの時、老人クラブと合同で朝のラジオ体操を実施
コミセン祭り、ジャズクラブ、異文化交流会、バスツアーコンサート
本年度「百人一首カルタ倶楽部」を設立し、読み手ボランティアを募集
地域行事を開催する際、全世帯に案内配布と車で開催を宣伝
毎年、校区の児童を対象に夏休初日に夕涼み会映画会を実施(今年で第9回開催)
短時間でも「参加賞」を配布、「ありがとう!」「助かった!」と感謝の気持ちを伝える
放課後こども教室と(小学生)と老人クラブとの共催事業(ニュースポーツ)を年3回実施

(35) 地域コミュニティの更なる活性化に向けた提案(自由記述)

<人材確保>

大学生との連携
会議回数の見直し
役員のインセンティブの創設
定年後の地域活動への参加の働きかけ
75才でOBになり、若い世代に役員を継承
各イベントにおいて、長期で中心になって動いてもらえる方を選定

<組織・運営について>

ライン(メール)、スマホ、PC の活用
若い人がグループで1つの役職を担う仕組みづくり
各委員会等をNPO化し、企業からのCMによる協力等も得る
定年制(75歳~80歳)を設ける。定年は75歳として周囲の推選があれば継続

<連携>

組織間の連携の強化
各地域の成功事例を共有
各代表者会議を定期的な実施(問題点の共有とその解決)
小、中、高での地域コミュニティに対する教育が必要(10年、20年先を見て)

<新たな活動提案>

儲かる農業(作物)の発見
自治会のメリットをPRするパンフレットの作成
自治会対抗運動会などのイベントの創設、自転車レースやマラソン大会、地形や自然を活かしたイベントの誘致

<住民の意識、地域コミュニティづくりの方向性>

一人一人が自分にできる事を楽しんで、参加
子どもの見守り活動や「子どものために」という意識で取り組む

地域の実情や課題に特化した取組みに転換
地域の中で知恵と工夫が生まれる環境づくり
例えば、防災、災害など、それぞれの世代別リーダーを生み出す工夫が必要
両隣の人たちとの”あいさつ”から地域のつながりを深める

<行政に対する意見>

地域活動の補助金や交付金の使途については、地域の裁量を拡大
地域組織が自らのアイデアを具現化できるよう、自由に使える資金が必要
住民に自治会への参加を義務づけ、自治会加入へのインセンティブの構築

<その他>

イベントの業者委託
地域コミュニティの目的、必要性の見直し
地域コミュニティの改善のための議論が必要
住民みんなが参加できるように負担軽減、意識の醸成、広報、情報共有、行事を工夫し、
楽しく参加できるようにする
自治会そのものの見直しが必要

以下、自治会長のみ回答

(36) 自治会加入促進としての取組(複数回答)

「自宅を訪問して、自治会への加入を促している」	38.2%
「分譲マンションなどの管理組合に促して、自治会の結成を依頼」	12.4%
「賃貸マンションなどに対しては、自治会加入促進チラシなどを配布」	7.8%
「地区連自治会長と連携・協力し、自宅を訪問して、加入を促している」	1.2%
「地域行事や活動の際に、自治会加入を促している」	22.8%
「その他」(役員を免除、不動産会社から入居者への自治会加入依頼等)	30.1%
「不明」	14.7%

(37) 自治会未加入者の情報収集

「近隣住民」	40.8%
「住宅開発業者」	5.2%
「マンション管理組合」	14.7%
「自治会役員」	43.1%
「その他」	16.8%(加入者リスト、マンション全住民に確認し把握等)
「不明」	13.3%

(38) 自治会から退会したい旨の相談を受けた場合の対応(複数回答)

「退会の理由を聞くために、個別に話を聞いている」	31.2%
「地域住民のつながりの大切さ、役割や活動を説明し、再考を促す」	23.7%
「特になにもしていない」	32.1%
「その他」(高齢の方への役員免除等)	16.8%
「不明」	11.8%

(39) 役員の改選や引継ぎ時の工夫(複数回答)

「会長をはじめとする役員の交代時、文書による引継ぎを実施」	52.0%
「会長の交代時、前会長が顧問として残り、負担の軽減とノウハウを引き継ぎ」	23.7%
「役員の改選時、役員を半分ずつ改選し、自治会活動の継続性に配慮」	11.6%
「行政が実施している自治会長説明会に参加」	42.2%
「特に何もしていない」	17.6%
「その他」(副会長が会長と一緒に1年間活動、任期順に昇格等)	6.5%
「不明」	1.7%

(40) 最も力を入れている、又は、力を入れるべき活動(自由記述)

<組織運営>

役員の負担軽減

加入者での自治会独自の活動

目的をしっかり持つ・会費収入など、きっちり使う・楽しい活動を意識

継続可能な自治会として、誰もができる仕事内容やその内容を簡素化

世代ごとにおいて地域活動の企画を行った方が、参加意識が高まる

<情報発信>

回覧を週1回定期的に実施

自治会の存在意義を啓発

回覧物や掲示物等をより分かりやすく作成

自治会活動への理解の促進。市の主催する活動への参画推進。他のコミュニティとの連携の重要性の説明

毎月定期的に自治会会議(役員、各班長、公民館委員、子供会等約40名)を実施し連絡

<会員募集・担い手づくり>

若手役員の参入促進

入会者の増加・自治会役員のなり手を育成

自治会会員との連携連帯性、相互扶助的役割、関わりをめざす

従来は子世代が小学生中心であったため、子ども向けイベント(もちつき、ハロウィン等)を実施してきたが、子世代が中学生、高校生中心になってきたため、子ども向けイベントから地域の安全や環境に関する取り組みを中心に実施

<高齢者向けの活動・対応>

高齢、独居の会員への目配り、声掛け(自主的に)

高齢者に対するお祝金の支給(70才、80才以上1000円、2000円)

役員の任期の再考と、仕事、行事の精査を行うことが必要

高齢化対策として老人クラブ(老人会)活動への助成

<防犯・防災>

年末夜回り

消防訓練、防犯活動、情報提供

特に安威川流域のための水害対策

ふれまちネット(ふれあいの町庄)ワークの構築

災害時早期避難困難者への助け・声かけネット(孤独死防止の見守りネット)
早期避難援助可能者の募集
今後、防災資機材、用品を順次購入
災害時、安否確認のため「一時集合場所」を各組・各班で決め、毎年の総会で継承

<地域行事>

ふるさと祭、体育祭、年末夜警、餅つき、盆踊り大会、夏祭り、春日神社祭、住民交流のカーニバル、マンション緑地でのガーデニング、玉櫛祭り、クリスマスイルミネーション、茨木神社夏祭り、親睦会、文化展、どんと祭り、納涼会、みかん狩り、地域盆、夕涼み会、花の植替、ラジオ体操

<清掃活動>

年2回の地域清掃
自治会資金としての廃品回収活動推進
毎月第3日曜日、午前8時~9時まで、公園の一斉清掃を実施
平成27年1月から毎週日曜日、地域環境美化運動の一環として、「犬のフン撲滅作戦」を実施(地域の大人と小学生等、約10人で(美化ジャンパー着用)早朝に巡回)

<コミュニティづくり・交流活動>

老人クラブ(老人会)、子ども会、自治会で共催の行事を実施
夏休みは「ラジオ体操」を実施
敬老の日にタオル・洗剤等を個別配布
マンション理事会との連携、特に防災について、マニュアルを作成し共有
交流の場が少なくなっているため、一斉清掃の場での交流、小さな農地での野菜づくり
自治会内に親睦部会と体育部会の設置
「土日祭り」、「ひまわり文庫引き取り」を実施するため、集会所を毎週土、日開放し、子どもたちのいこいの場として提供
会長・全役員とライン(メール)を活用し、連絡等を実施

(41) 自治会報償金の活用方法(複数回答)

「役員の謝礼」	15.9%
「活動時のお茶代」	19.4%
「地域行事の負担金」	29.2%
「用途を特定していない」	36.1%
「その他」	22.5%(掲示板の購入、ゴミ袋の配布、地域活動への謝礼等)
「不明」	3.8%

(42) 会費の有無

「有」	85.5%
「無」	6.1%
「わからない」	1.2%
「不明」	7.2%

(43) 1世帯あたりの平均会費

月額約 260 円

年額約 3,000 円

※10 円未満四捨五入

月額の自治会費 最高額 1,500 円 最少額 50 円

年額の自治会費 最高額 18,000 円 最少額 400 円

以上